



ASO

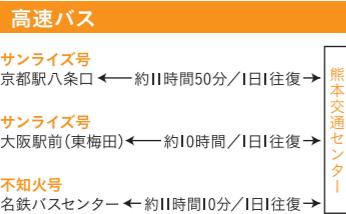
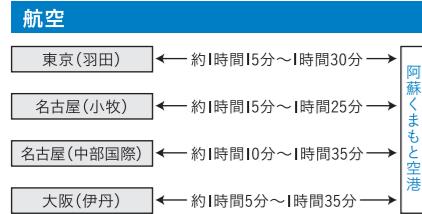
UNESCO GLOBAL GEOPARK

阿蘇ユネスコジオパーク

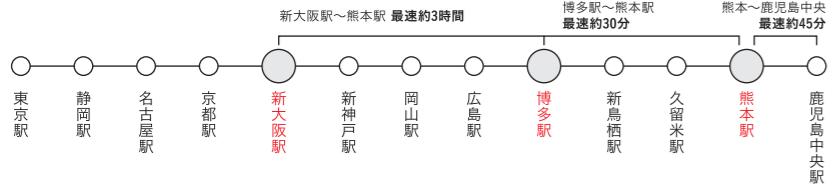
阿蘇火山の大地と人間生活に触れる、時空を超える旅

■交通アクセス

九州外から阿蘇ユネスコジオパークへのアプローチ

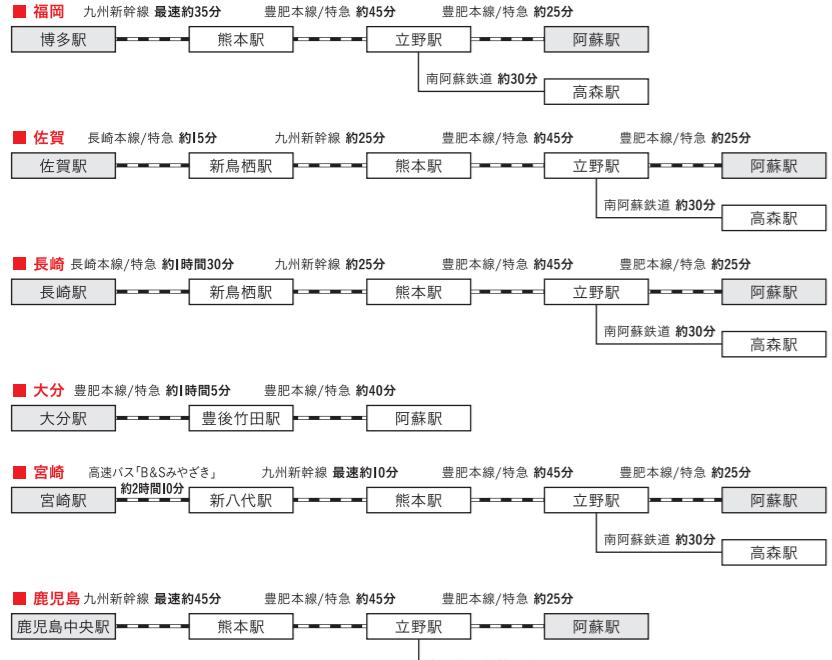


新幹線

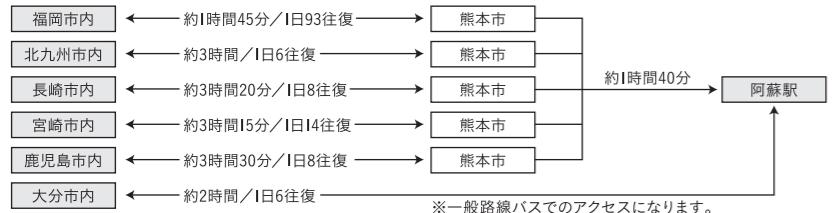


九州各県から阿蘇ユネスコジオパークへのアプローチ

列車



高速バス



【お問い合わせ先】

阿蘇ジオパーク推進協議会
〒869-2232 熊本県阿蘇市赤水1930-1 阿蘇火山博物館1階
TEL:0967-34-2089 FAX:0967-34-2090
info@aso-geopark.jp

阿蘇ジオパーク 検索 ↗

【発行】

阿蘇市 観光課
〒869-2695 熊本県阿蘇市一の宮町宮地504-1
TEL:0967-22-3174 FAX:0967-22-4566
<http://www.city.aso.kumamoto.jp>

阿蘇市 検索 ↗

阿蘇は、 ～阿蘇火山の大地と人間生活にふれる、時空 生きている。

～阿蘇火山の大地と人間生活にふれる、時空を超える旅～

阿蘇火山の大地と人間生活



九州における第四紀火山の分布

阿蘇火山は別府～由布岳、鶴見岳～九重～阿蘇～金峰山～雲仙という東西方向の火山の並びと、阿蘇～霧島～桜島～開聞岳という南北方向の並びとの会合点にあたります。それが阿蘇火山の構造や構成岩質の複雑さに影響しています。

■ ジオパークと

地球や大地の営みを科学的に観察し、地層や岩石、地形、火山、断層など、特別に貴重で美しい自然遺産が数多く存在する地域を「ジオパーク（大地の公園）」といいます。ジオパークは、その保全と活用を重視し、そこで暮らす人々の文化を含めた自然遺産を通じて、ジオ（地球・大地）に親しみ、その成り立ちと仕組みに気づき、生態系や人間生活との関わりを考える場所です。この取り組みは、2004年に設立された世界ジオパークネットワークの活動によって世界中に広まり、2015年11月にユネスコの正式事業となりました。

阿蘇コネクションパークのストーリー

阿蘇火山の大地と人間生活の関わりについて 理解を深める3つのテーマ。

普段なにげなく目にしたり、ふれたりしている風景が、実は意味のある地形だったりします。そのひとつが阿蘇火山の大地の成り立ち、人間生活との関わりを紐解く重要な鍵になるのです。阿蘇ユネスコジオパークの魅力を、より理解しやすく伝えるために、3つのテーマをもとにジオサイトやジオツーリズムをご紹介します。

巨大カルデラに刻まれた噴火の記憶

阿蘇ユネスコジオパークの象徴である世界有数の巨大カルデラ。約27万年前以降の活発な火山活動と、約9万年前の大噴火によって形成された独特の地形や地層、噴火がもたらした日本各地への影響などを、ジオサイトを通じて理解していきます。

- Point!

 - ①世界有数のカルデラと火山地形の形成について
 - ②約9万年前の巨大噴火がもたらした影響について



地球の息吹を感じる中岳火口

カルデラ内にある火山群の中でも、有史時代を通じて今日にいたるまで、活発な活動を繰り返してきた中岳火口にスポットを当てます。中岳火口に見られる周辺地域の特殊な景観、生態系、さらに活動火山と共に生息する人々の姿を紹介します。

- Point!

 - ①間近に体感できる活動火山と、周辺地域の特殊景観
 - ②活動火山とともに生きる人々



火山がもたらした恵みと人々の暮らし

活動火山とともに暮らす人々は、自然との共生をはかり、火山に畏敬の念を抱き、そして独自の文化・生活を築いてきました。また、火山地帯によく見られる湧水や温泉など、自然は人々に大きな恵みをもたらしてきた存在でもあります。

- ①阿蘇火山がもたらす恵み
 - ②阿蘇火山の神格化と、農耕神事の歴史
 - ③火山との共生生活、人々が守り育てる景観



ジオツアーの案内

阿蘇ユネスコジオパークのテーマをより深く体感できる
おすすめのコースをご紹介します。

A 地球の息吹を感じる中岳火口

今も噴煙をあげる中岳火口は、有史以前より噴火を繰り返してきた活火山。噴火活動の歴史を思わせる特殊な景観が広がり、さまざまな地形や地質を観察できるコース。

B 世界有数のカルデラの成り立ちとその影響をたどる

カルデラ地形や、火山や人々がつくりだした景観を楽しみながら、阿蘇を体感できるコースです。

C 阿蘇火山の恵み～古代の暮らしと水～

阿蘇の湧水や、由緒正しい神社をめぐりながら、古代から脈々と受け継がれている人々の暮らしを体感できるコースです。

D 火山がつくった地形と人々の暮らし

噴火によって流れ出た溶岩や火碎流から形成される地形の特色を観察しながら、そこに暮らす人々の生活の知恵にもふれられるコースです。

E 阿蘇と神話の不思議をたどる

阿蘇には阿蘇開拓の神、健磐龍命にまつわるさまざまな神話が残されています。阿蘇と阿蘇に伝わる神話と、その不思議をたどるコースです。

ガイド

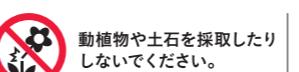
より多くの人に阿蘇ユネスコジオパークの魅力にふれ、大地と生活との関わりについて理解を深めていただくために様々な取り組みを行っています。

阿蘇ユネスコジオパークを案内するガイドがいます。

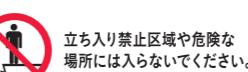
ジオパークのガイドは阿蘇火山とジオサイトのつながりを教えてくれます。有名な美しい景色や、道端に落ちている岩石から、さまざまなものが繋がっていきます。巨大で美しいカルデラをつくる、地球のすごい活動をジオガイドと一緒に探検しよう！

ガイド料金や予約方法など、詳しくはガイド協会事務局までお問い合わせて下さい。

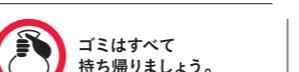
阿蘇ジオパークガイド
事務局：阿蘇ジオパーク推進協議会事務局
TEL:0967-34-2089 FAX:0967-34-2090
HP:<http://www.aso-geopark.jp/>

【注意事項】**■阿蘇ユネスコジオパークでは、次のことに気をつけてください**

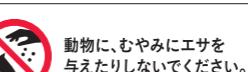
動物や土石を採取したりしないでください。



立ち入り禁止区域や危険な場所には入らないでください。



ゴミはすべて持ち帰りましょう。



動物に、むやみにエサを与えたたりしないでください。

■火山ガス規制について

中岳ジオサイト周辺は火山活動の状況によっては、ジオサイト内の立入が規制される場合があります。また、通常時でも常に火山ガスを放出しており、持病のある方のジオサイト見学はできません。

火口の規制状況については阿蘇山西火口規制情報HPを確認してください。
(日/英/中/韓対応) <http://www.aso.ne.jp/~volcano/>

■安心と安全のための対策**<草原の保全>**

阿蘇の草原は、野焼きや放牧など、そこで暮らす人々が手を加え、利用することで維持されています。この草原維持のシステムを永続させるために「野焼きボランティア」育成をはじめ、環境省が中心となって「阿蘇草原再生協議会」が設立されています。

<安全対策>

山岳地域においては、地元の有識者や警察・消防が協力し、登山道の整備や危険箇所のチェックが行われています。また、阿蘇エコツーリズム協会で「エコツーリズムガイドライン」が設定され、ジオツアーに対しても詳細な安全対策がまとめられています。

<警戒体制>

中岳は現在も活動を繰り返す活火山です。気象庁による噴火警戒レベルに合わせた立入規制が「阿蘇火山防災会議協議会」により行われています。火口周辺にお越しの際は、最新の規制情報をご確認下さい。

阿蘇中岳警戒情報：
<http://www.city.aso.kumamoto.jp/>

阿蘇ユネスコジオパークの4つの拠点施設

道の駅阿蘇/ASO田園空間博物館
阿蘇市全域を博物館とするエコミュージアム。人・もの・暮らしなど、阿蘇の宝をわかりやすく展示しています。自然・歴史・伝統・文化を継承する試みを続けています。
[問] TEL:0967-35-5077

南阿蘇ビジターセンター
阿蘇の自然と人々の暮らしを紹介する施設。自然とのふれあいを深める様々な普及活動が行われています。阿蘇の多種多様な植物を観察できる阿蘇野草園を併設しています。
[問] TEL:0967-62-0911

小国ゆうステーション
旧国鉄宮原線の肥後小国駅跡地に建てられた道の駅。特産品の販売所や休憩所、ギャラリーを設置。小国ツーリズム協議会の事務局が置かれ、小国郷一帯の情報提供を行っています。
[問] TEL:0967-46-4111

